

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	1年	2	必修
担当教員			
林 明史			
G (現代ビジネス学科)	S (専門科目)	BS (社会人基礎)	106 (基礎・入門科目)

授業のねらい (概要)	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業後ビジネス社会に羽ばたく際に必要となる基礎的な知識やスキルを習得し、社会に付加価値を提供することでその対価を得るという持続可能な社会を形成する一員となることを自覚します。 ・同時に、社会の変化を率先して切り開くことへの興味とチャレンジ精神を醸成します。
授業計画	<p>第1回 【遠隔】 1 ビジネスと社会の発展 予習(時間): レジューメを読み全般の理解に努め、関連する議論に参加できるよう準備する。(120) 復習(時間): 復習した上で、理解度チェック問題に回答し提出する。(120)</p> <p>第2回 【遠隔】 2 小売・卸売・物流業とEC 予習(時間): レジューメを読み全般の理解に努め、関連するケーススタディの議論に参加できるよう準備する。(120) 復習(時間): 復習した上で、ケーススタディ課題を提出する。(120)</p> <p>第3回 【遠隔】 3 サービス業と社会の変化 予習(時間): レジューメを読み全般の理解に努め、関連するケーススタディの議論に参加できるよう準備する。(120) 復習(時間): 復習した上で、ケーススタディ課題を提出する。(120)</p> <p>第4回 【遠隔】 4 情報通信業とIT 予習(時間): レジューメを読み全般の理解に努め、関連するケーススタディの議論に参加できるよう準備する。(120) 復習(時間): 復習した上で、ケーススタディ課題を提出する。(120)</p> <p>第5回 5 組織行動と企業倫理 予習(時間): レジューメを読み全般の理解に努め、関連するグループワークの準備をする。(120) 復習(時間): 復習した上で、グループワーク課題を提出する。(120)</p> <p>第6回 【課題】 6 製造業と生産活動 予習(時間): レジューメを読み全般の理解に努め、関連するケーススタディの議論に参加できるよう準備する。(120) 復習(時間): 復習した上で、ケーススタディ課題を提出する。(120)</p> <p>第7回 7 ケーススタディとプレゼンテーションへの取り組み 予習(時間): レジューメを読み全般の理解に努め、関連する議論に参加できるよう準備する。(120) 復習(時間): 復習した上で、グループワーク課題を提出する。(120)</p> <p>第8回 【課題】 8 金融業 予習(時間): レジューメを読み全般の理解に努め、関連するケーススタディの議論に参加できるよう準備する。(120) 復習(時間): 復習した上で、ケーススタディ課題を提出する。(120)</p> <p>第9回 9 マーケティング 予習(時間): レジューメを読み全般の理解に努め、関連する議論に参加できるよう準備する。(120) 復習(時間): 復習した上で、理解度チェック問題に回答し提出する。(120)</p> <p>第10回 10 ファイナンス 予習(時間): レジューメを読み全般の理解に努め、関連する議論に参加できるよう準備する。(120) 復習(時間): 復習した上で、理解度チェック問題に回答し提出する。(120)</p> <p>第11回 11 財務会計と管理会計 予習(時間): レジューメを読み全般の理解に努め、関連する議論に参加できるよう準備する。(120) 復習(時間): 復習した上で、理解度チェック問題に回答し提出する。(120)</p> <p>第12回 【課題】 12 ビジネスライフサイクル 予習(時間): レジューメを読み全般の理解に努め、関連するケーススタディの議論に参加できるよう準備する。(120) 復習(時間): 復習した上で、課題を提出する。(120)</p> <p>第13回 13 イノベーションと新アイデア 予習(時間): レジューメを読み全般の理解に努め、関連する議論に参加できるよう準備する。(120) 復習(時間): 復習した上で、課題を提出する。(120)</p> <p>第14回 14 グループプレゼンテーション (I) 予習(時間): グループプレゼンテーション発表の準備をする。(120) 復習(時間): 発表されたグループプレゼンテーションの評価をする。(120)</p>

	<p>第15回</p> <p>15 グループプレゼンテーション (II)</p> <p>予習(時間): グループプレゼンテーション発表の準備をする。(120)</p> <p>復習(時間): 発表されたグループプレゼンテーションの評価をする。(120)</p>
授業を通して身に付けることができる能力 (DP)	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の社会情勢を理解しており、諸課題について主体的に考える姿勢を身に付けている ・基礎的知識を身に付けており、学んだことを発信できる能力を身に付けている ・組織において協働できる能力を身に付けている
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人として、世の中にどのような付加価値を提供するのか理解できる ・不明確な答えを自分で探す必要のある実社会において、多面的な見方から答えにより近づく努力ができる
課題や小テスト等のフィードバックの方法	<ul style="list-style-type: none"> ・提出された課題レポートは、評価を付して返却します。 ・小テストは採点の上返却します。全体的な注意点などは次回の授業内で解説します。
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・実社会では皆さんの主体的な取組みが求められます。当科目でも同様に、授業の議論への積極的な参加が求められます。 ・実社会ではチームとしてパフォーマンスを最大化することが求められます。当科目でも同様に、チームメンバーとの協働・助け合い・リーダーシップが求められます。
成績評価の方法・基準	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 25% (議論への積極的な参加) ・グループワーク 25% (チームワークとチーム総合評価) ・提出課題 25% (理解度・創造性・情熱) ・期末試験 25%
教科書	オリジナルレジュメを配布する。
参考書・教材	
備考	<p>2020年度は、6、8、12回を課題研究として学習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第6回 第2回～4回の講義を参考に、業界特性をまとめた小レポートを提出する。4回の遠隔授業で指示し、5回の対面授業で提出する。全体で330分の学修を想定している。 ・第8回 第6回同様の実施として、7回の対面授業で指示し、9回の対面授業で提出する。全体で330分の学修を想定している。 ・第12回 講義資料を参考に小レポートを提出する。10回の対面授業で指示し、11回の対面授業で提出する。全体で330分の学修を想定している。
教員との連絡方法	Eメール (アドレスは授業内で周知)